

施設名 清水小 学童保育所

視点	評価項目	6月			9月			12月			所管課 期末評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)
		所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	職員配置(常勤数、非常勤数、加配数)・放課後児童支援員	B	配置職員及び放課後児童支援員は適正に配置されている。	B	支援単位にあった適正配置に努めている。	B	支援単位にあった適正配置に努めている。					
	定性的	月報(学童保育状況報告書)・日報(育成日誌兼業務記録)を作成しているか	B	月報、日報は適切に作成している。また、法人独自のモニタリングノートや職員同士で情報を共有する連絡ノートを作成し、担当業務の明確化、子ども達の課題の状況を記録することで、全職員、全学年で情報を共有し後につなげる取組みを行っている。	B	問題なし	B	問題なし					
	定量的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	B	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設し、資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【銀行口座の通帳の有無・独立した会計帳簿】	B	適正かつ明確化が図られている。	B	問題なし					
	定性的	収支計画が適正であること	B	給与の支出及び収支計画が適正に執行されているか【給与規程・資金台帳・事業計画書(収支計画)・事業報告書】	B	適正に執行されている。	B	問題なし					
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	B	児童養護、アレルギー対策等の研修や職員倫理をはじめとする資質向上を図るための人材育成研修が行われているか【研修件名・内容】	B	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	A	応急救護研修、保育実践研修など法人ブロック内研修、法人全体研修など計画的に実施している。また児童虐待防止研修などを実施している。	B	応急救護研修、心臓蘇生・AEDの使用方法を学ぶ【集合研修、リードとサポーターについて保育士を学ぶ】			
	定性的	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	B	事業者の経営状況が健全な状態であるか【確認資料例:財務諸表・財務評価表】	B	適正である。	B	問題なし					
	定性的	入退所等関係書類が滞りなく処理されているか	B	業務の一括委託が行われていないか【第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】	B	協定書で定める範囲内で非常通報装置等、業務の一括委託が行われている。	B	問題なし					
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B	文書の管理・保存が適切に行われているか【ファイル基準表(なければそれぞれに準ずるもの)・実地調査】	B	ファイル基準表に則り適切に管理保存がされている。	B	問題なし					
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B	設備・機器類の安全確認や定期的なメンテナンス、施設の修繕、清掃、整理整頓が行われているか【事業報告書・実地調査】	B	職員による日常清掃をはじめ各種機器の保守点検が行われている。	B	問題なし					
	定性的	備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	備品の管理が適切に行われているか【備品台帳・実地調査】	B	適切に管理されている。	B	問題なし					
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	利用者の満足度3.0【利用者満足度調査】			B								
	定性的	放課後子ども教室運営団体と情報共有が図られ、放課後子ども教室への参加について柔軟に対応されているか	B	児童の情報共有や安全対策を双方で連携、協力して行い、放課後子ども教室開催時には積極的に参加している。	B	迎えや煙のお手伝いをして、連携に努めている。	A	児童の情報共有や安全対策を双方で連携、協力して行っているほか、お茶会、ハンドボールをはじめとするスポーツ大会や、池の清掃活動など普段から共通の行事に双方が協力で準備・参加するなど一体的な活動の推進に積極的に取り組んでいる点を評価した。	B	放課後子ども教室の安全管理員の方と常に連携を取り、在籍児童だけでなくトラブルがあった際には介入し対応している。			
	定性的	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	B	苦情解決の体制(解決責任者の設置・受付担当者の設置)を整備し、利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【マニュアル・相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B	苦情対応の体制を整え、苦情や相談案件についても記録簿を作成しミーティング時に職員間で共有するなど適切な対応がされている。	B	問題なし					
	定性的	利用者への周知・理解及び支援を深める取り組みを進めているか	B	保護者(会)とのコミュニケーション及び支援を深める取り組みが適切に行われているか【おたより、連絡帳】	B	おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。	A	おたよりやアプリを使い、保護者へ活動内容を定期的に伝えるなど適切に取り組まれている。また、個人面談などから寄せられた懸念に耳を傾け、保護者支援を深める取組として、長期休業時におけるレイト昼食持参について毎日持参対応を可能とした取組みを行っている。	B	個人面談を実施。月のお便りは見やすいようカラーでまちcomi配信。行事の持ち物等もこまめに配信している。			
	定性的	学童保育所と地域の交流を広げる取組がなされているか	B	学校、地域等の関係機関と連携し、特色ある行事を計画的に実施することで、保育活動の拡充・拡充を図っているか【事業計画書・事業報告書・行事計画書・ヒアリング等】	B	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。また地域の保育園や幼稚園と連携交流を行っている。	A	学校への情報提供・共有をはじめ、状況に応じて児童相談所、子ども家庭支援センターとの連携を図っている。また地域の保育園や幼稚園と連携・交流のほか、地域清掃活動等にも積極的に参加。学校関係者、保護者、地域のみなさんとの交流を取り入れた保育活動を実施している点を評価した。	A	地域清掃(クリーン大作戦)に参加。清水小PTCAと学校の池の掃除を行う。			
個人情報の保護管理及び危機管理が図られているか	定性的	資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	B	「八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム(H-EMS:ヒームス)」に基づき、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等】	B	節電・節水の呼びかけ、紙のリサイクルなど環境に配慮した取り組みがなされている。	B	問題なし					
	定量的	年間行事が事業計画どおり実施されているか【行事計画書、行事参加者名簿】	B	計画どおり実施されている。	B	問題なし	A	計画どおり実施する行事に加え、ペットボトルでのリサイクル工作の実施、毎日のレトルト昼食の対応、デリバリーランチ手作り昼食・回収の委託回収を増やすなどの取組みがなされている。	A	夏休み中にデリバリーランチ・手作り昼食・緑日・3年生キャンプ・水遊びを行った。			
	定性的	防災訓練等(地震、火災、不審者、交通ルール等)は事業計画どおり実施されているか	B	地震を想定した避難訓練、防災教育など計画的に実施されている。	B	問題なし	B	問題なし					
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B	個人情報の保護等適切な管理のための必要な措置が講じられているか【保管庫の施錠、マニュアルの整備、情報セキュリティの順守】	B	個人情報取り扱いにおけるマニュアルを整備、施設付きの書庫で保管するなど必要な措置が講じられている。	B	問題なし					
緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が図られているか	定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【保険証券】											
	定性的	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故や災害発生時の緊急時における初動対応が迅速かつ適切に行われたか。また、適切に行えるよう責任、手順(マニュアル)等を明確にし、体制が整えられているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	万が一の事故や災害に備え、適切に対応が出来るようマニュアル類や連絡体制を整えている。	B	問題なし					
	定性的	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故報告等の収集した事例について、職員の参画のもと発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討実施する等の取組が行われているか【マニュアル・事業計画書(事業計画)・事故報告書】	B	事故案件や事故事例を基に発生原因の検証や、対応策について職員間で話し合いを行っている。また事故を未然に防ぐため、ミーティング時に職員間で安全対策・再発防止に向けた意識啓発に取り組んでいる。	B	全体で安全対策委員会を組織し、委員を中心に事故発生の原因、ヒヤリハット事例を分析対策等全職員で共有し、再発防止に努めている。	B	防犯のため出入口担当を決め外部からの侵入にすぐに気づけるようにした。職員ミーティングでマニュアルを使用して確認を行った。			

期末総合評価	
所管課コメント	